

ガバナー月信

vol.01 2024.07



6月1日の地区研修・協議会

月信7月号

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ① ガバナーメッセージ | ⑧ 山の会 |
| ② 地区幹事挨拶 | ⑨ 地区ラーニング委員会 |
| ③ 地区財務委員挨拶 | ⑩ 財団委員会通信 |
| ④ 分水 RC 創立 50 周年記念式典 | ⑪ 地区主要行事予定 (7月・8月) |
| ⑤ ロータリー国際大会 | ⑫ 新入会員紹介・計報 |
| ⑥ 2024-25 年度地区研修・協議会 | ⑬ コーディネーターニュース |
| ⑦ ロータリー財団 学友会総会 | ⑭ ハイライトよねやま |



国際ロータリー第 2560 地区
2024-25 年度

南雲ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナー就任のご挨拶

2024-25 年度 ガバナー

南雲 博文 (長岡 RC)

国際ロータリー第 2560 地区 2024-25 年度ガバナー就任のご挨拶を申し上げます。2022 年にクラブの推薦を受け、選考委員会の田中委員長より要請を頂き僭越ではありますが、お引き受けさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症蔓延の真っ最中、どうなるのか家庭や会社のことを考えると不安でいっぱいの中での決断でした。

今年 1 月の国際協議会には、元日の能登半島地震で国内が騒然とする中、飛行機事故が起きた直後の羽田空港から出発しました。

協議会では、2024-25 年度の国際ロータリー会長、ステファニー A. アーチック氏にお会いでき、RI のテーマと方針をお聞きできた時は、本当に感動しました。二人目の女性会長で、会場も女性が多く世界が多様性に大きく動いていることを感じました。RI 会長アーチック氏のテーマは「ロータリーのマジック」です。私はマジックとは変化ととらえ、私の考えに大きく響いて勉強してきました。

1 月 27 日には国際協議会報告と地区チーム研修セミナー、第 2 回目の運営会議を開催いたしました。地区の運営方針も発表させていただきました。

私は「ロータリーはステージ、みんなが輝く！」といたしました。クラブの大小、年齢、性別に関係なく、ロータリアンとしてそれぞれのステージに立ち、輝くことにより周りを巻き込み、明るい元気な地域を創っていくことにしたいと思っております。それには今までの分区、エリアにこだわらず、分区内にグループを作っていただき、連携して情報共有することで、今までできなかったこともできるのではないかと考えております。今まで以上にガバナー補佐の方に、分区、クラブとの連携強化をお願いいたしました。更に公式訪問も分区内のグループで行うことも取りまとめていただきました。

もう一つ大きく変化したことは、地区ラーニング委員会を米山年度から創設し、研修対象者を私の年度の方ということで、やっていたいただきました。

ガバナー補佐研修、会長幹事研修でロータリーの理論と実践を勉強していただきました。これからはいろいろなラーニングをやり、この地区が更に充実していくことを大いに期待しております。

3 月の PETS、6 月の地区研修・協議会を皆様のご協力が無事終了することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。

7 月 1 日にジェットコースターのスタート台に立ちました。

皆様のおかげをもちまして、やることはやったという気持ちと、まだ何か足りないかななどの思いが交差しております。しかしスタートに当たり、迷うことなく、皆様に支えられていることを力として、一緒にゴールを目指したいと思っております。

どうか更なる皆様のお力添えを頂き、新しいステージに到達できますことを切に祈念いたしまして、私のお願いとご挨拶といたします。



2024-25 年度地区バッジ デザインコンセプト 「歴史から学び、新たなステージへ」

デザインモチーフは、歴史と伝統のある長岡花火と新潟県の大河信濃川流域を中心として発見された火焰土器です。

長岡花火は日本の歴史的な花火大会で、明治時代から続く伝統を持ちます。戦後は慰霊の花火として、長岡市の夏の風物詩になりました。花火師の技術と芸術性が結びつき、見物客を魅了する日本の花火文化の一翼を担っている重要な歴史的イベントです。その花火の中、モチーフにいたしました三尺玉、そして中越地震の復興祈願花火フェニックスは、今でも心に響く市民にとっても大切な花火です。

また、火焰土器は、新潟県内で約 4,000 年前の時期に盛んに作られ、波状や渦巻き状の焰模様が特徴的です。新潟県内で数多くの出土例があり、古代人々の生活や文化、美意識を知る上で重要な遺産となっています。

長岡にとってこの 2 つは文化財であり、文化的価値や歴史的・美的な意味を持ち、長岡と日本・世界の歴史をつなぐ重要な要素です。

これからの新たなステージをイメージするにあたり、ロータリークラブの歴史に対して敬意や尊敬の念を抱き、モチーフのように歴史的な業績をたどり、その価値を受け継ぐよう祈念したデザインです。





南雲年度の幕開け

地区幹事

阿部 修靖 (長岡 RC)

2022-23 年度クラブ会長を務める間際の 6 月に、南雲年度地区幹事の声が掛かりました。クラブ会長という翌月から忙しくなるプレッシャーで、ためらいはあったものの南雲ガバナーのお人柄と、長岡クラブの団結力と協力性を持って臨めば、成し遂げられるのではないかと思います。決断いたしました。また依頼される方のご苦勞を感じるとともに、何事も経験と捉えたところもあります。

エレクト年度のスタートと同時に、地区研修委員会（現地区ラーニング委員会）が始動となり、副委員長を兼任しました。分からないことが徐々に分かるようになったことは、非常にありがたく感謝しております。南雲年度の重点目標の一つである「地区ラーニング委員会の充実」を達成できるよう、微力ながら引き続きオブザーバーとして関わらせていただくことになっています。これからもよろしくお願いいたします。

南雲ガバナーは変化を強調されています。変化は多くのエネルギーを要しますが、非常に楽しいものです。輝ける「ステージ」づくりの源になるはずです。チャレンジと現状維持をその場面場面で使い分けながらスマートに変化をして、輝ける「ステージ」が創れることを願っています。そして南雲ガバナーには、気持ちよくガバナーを務めていただき、ご自身も輝いていただくためのベストな環境を整えていきたいと思えます。

南雲年度の「ステージ」が幕開けとなりました。各クラブが輝けるステージをうまく演出できるように努力して参ります。これから一年、皆様からのご指導ご協力をお願いいたします。



PETS 事前準備



地区研修・協議会事前準備



南雲年度のスタートにあたり

地区財務委員

米山 孝之 (長岡 RC)

7月に入り新年度を迎え、南雲ガバナー年度がスタートいたしました。

昨年5月8日にCOVID-19の感染症法上の位置づけが新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に移行したことに伴い、ロータリーにおける活動内容もCOVID-19禍の前に戻るということを前提に、予算組を行いました。

まず、予算編成をするにあたり、今年度の会員数の推計につきましては、会員数が近年微増傾向にございますので、2023年11月30日の会員数2033名をもちまして2024年7月1日の会員数といたしました。

次に、地区資金収入の部につきましては、地区事務所・ガバナー事務所の一体運営による予算低減効果を反映しまして、一般会計ロータリークラブ分担金及び特別会計ロータリークラブ分担金共に、前々年度及び前年度と同額とさせていただきます。

さらに、アメリカ合衆国において開催が予定されております規定審議会参加者への旅費の補助につきましては、前年度繰越金を充当させていただくことにいたしました。

そして、地区資金支出の部のうち、委員会費につきましては、COVID-19禍の前に戻った活動がなされることを前提に、前年度よりも増額計上いたしました。

また、地区補助金の申請・報告をスムーズに行なえるようにすることなどを目的として、新たに、地区補助金申請・報告システムを導入することとし、そのための構築費用を計上いたしました。

さらに、特別会計のうち、青少年育成活動会計につきましては、COVID-19禍の前に戻った活動がなされることを前提に、前年度繰越金を充当させていただくことにいたしました。

今年度の国際ロータリーのテーマである「ロータリーのマジック」及び地区運営方針である「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」に基づいたロータリー活動がなされることを期待いたしますと共に、着実な予算執行に務めてまいりたいと思います。

これからの1年をよろしくお願いいたします。



創立 50 周年記念式典を終えて

分水ロータリークラブ
2023-24 年度会長
町田 健尚

私たち分水ロータリークラブは創立 50 周年記念式典及び祝賀会を、去る令和 6 年 5 月 19 日に、燕三条ワシントンホテルに於いて開催させていただきました。

当日は燕市長をはじめご来賓の方々、RI 第 2560 地区内外より総勢 184 名の多くの皆様にご臨席を賜りました。ご参加の皆様には改めまして厚く御礼申し上げます

当日の記念式典では、燕市長 鈴木力様、RI 第 2560 地区ガバナー米山忠俊様、スポンサークラブ 三条 RC 吉井直樹様よりご祝辞をいただいた後、記念事業として燕市様へ「木彫りのフェニックス像」と「市内分水地域の小中学校への防犯カメラの設置」の目録贈呈をさせていただきました。続く記念講演では「県民の生活を守る大河津分水」というテーマで、講師の樋口勲様より、地元にあります大河津分水の歴史と役割についてご講演いただきました。

また、その後祝賀会では、「分水チェリーベル」によるハンドベル演奏と、太鼓衆「天鼓雷音」による和太鼓の演奏をお楽しみいただきました。ご来場の方々からは、記念講演は「大変わかりやすく、大河津分水の意義と重要性知ることができた」とお褒めいただき、「ハンドベルの透き通った音色からの和太鼓の迫力ある演奏という静から動への素晴らしい演出に感動しました」と大変ありがたいお言葉をいただきました。

また後日の 6 月 21 日には燕市様より、市役所に於いて、「フェニックス像の除幕式」を執り行っていたいただき、新聞他各メディア様からも取り上げていただきました。

今回の事業開催にあたり、私たち分水ロータリークラブは約 1 年前より、実行委員会を立ち上げ、式典、総務、会場と各委員会を設置し、意見と議論を交わしながら準備してきました。途中、会員同士で意見がぶつかり合うこともありましたが、開催日が近づくにつれ、「ご来場いただく皆様へのおもてなしを一番に考えよう」と自然とまとまっていきました。無事に終えることが出来たことを大変嬉しく思っています。

ご臨席いただいた皆様にお褒めの言葉を多くいただき、無事に終えることが出来て、会員一同、本当にやって良かったという気持ちで改めて団結できたという気持ちです。

ご臨席いただきましたご来賓の皆様、ロータリアンの皆様、本当に感謝申し上げます。

私たち分水ロータリークラブはいただいたこの50周年という大きな節目の経験を胸に、次の10年に向けて新たな一歩を踏み出し始めています。RI2560地区のロータリアンの皆様には今後共より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。





2024年シンガポール国際大会登録48名！ ～米山ガバナーナイトに31名が参加～

2023-24 年度国際奉仕委員会

委員長

徳永 昭輝（新潟 RC）

米山年度の最後の大きなイベント～シンガポール国際大会への参加を呼びかけてきた。地区からは48名が登録、委員会企画のツアー参加は17名であった。

国際大会では、マッキナリー国際ロータリー会長は公平でより平和な世界の為にロータリー活動で平和を推進することを呼びかけ、国際的な人道家グラサ・マシェル氏は「女性のための権利平等と女兒のための平等な教育機会のため」に活動をするように大会参加者に呼びかけ幕を開け、華々しい各国の国旗の入場がさらに会場の雰囲気を高め、華やかな本会議であった。この大会ではスマートフォンで大会の内容を日本語で見たり、聞いたりでき、親近感を感じることが出来た開会式であった。会長は、メンタルヘルスと福利の向上についても触れ、マシェル氏は「特に女の子が直面する非識字の課題に立ち向かう準備が出来ているか」と参加者に問いかけていた。

米山ガバナーナイトには、ツアー参加者以外の新発田 RC、新発田城南 RC、長岡 RC、新潟 RC、新潟中央 RC、新潟西 RC のメンバーも現地で加わり 30 余名のロータリアン・家族が集まり、米山ガバナーの挨拶、高尾パストガバナーの乾杯で始まった。多くのロータリアンが交流を深める機会となり、同じホテルでガバナーナイトを行っていた深谷 RC の高丹ガバナーの訪問もあり、国際大会ならではの交流を行うことができた。

クラブツアーの昼食会、夕食会も盛大に行われ楽しい思い出に残る国際大会となった。

参加されたロータリアン、支援いただいたロータリークラブの皆様に感謝申し上げます。

ロータリークラブの壁を越えてロータリアン同士が本音で語りあい、親交を深めることが出来ました。特に米山ガバナーのお人柄に感謝し、国際大会の報告とさせていただきます。



無事に登録を終わり、ツアー参加者の集合写真



2024 年ロータリー国際大会開会式；シンホー・ライオン&ドラゴンアーツ・トループ



米山ガバナーナイト・深谷 RC のメンバーと



ツアー最後の夕食会：高尾パストガバナー誕生日を祝う



ツアー最後の昼食会



2024 年 シンガポール国際大会お疲れ様でした



地区研修・協議会 御礼

地区研修・協議会実行委員長
野村 修士 (長岡 RC)

6月1日、アオーレ長岡と長岡グランドホテルを会場に、天気にも恵まれ地区研修・協議会が開催されました。朝早くから県内各地より、約600名近くの多くのロータリアンの皆様からご参加を頂き5年ぶりにリアルでそして対面で開催することができました。

午前中の全体会議では、高橋秀樹地区ラーニングファシリテーターより今回の地区研修・協議会の目的についての説明後、「国際ロータリーの現在 (いま)」という演題でご講演を頂きました。午後からは6つのセッションに分かれ、一方通行な講義だけではなく双方向で意見交換もすることができ、各自学びもあり大変有意義な中で研修を終了することができました。その後の全体会議においては、12名の委員長さんから各セッションの発表があり、それぞれ理解を深めることができました。南雲年度の地区テーマは、「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」です。そして「よく学びよく遊べ」という言葉がある通り、一生懸命勉強をした後の懇親会では、「オールディーズライブ」で、しばし、あの時の若さを取り戻して英気を養い、参加した皆さんが、“輝き”思い出深い一日となりました。

今回の研修の成果を是非生かし、明日からの各ロータリークラブの活性化に繋げて頂くことを心からご祈念し御礼のご挨拶といたします。

ありがとうございました。





ロータリー財団学友会総会

2023-24 年度ロータリー財団委員会
奨学金・学友会・VTT 委員会
委員長

大竹 賢一 (三条東 RC)

6月12日12:00よりホテルイタリア軒に於いて、ロータリー財団学友会総会が行われました。財団学友から14名(内3名はzoom参加)、GSEメンバーから1名、ロータリアンが20名の参加です。

総会は米山ガバナー、佐藤財団委員長の挨拶から始まりました。次に欠席の学友からの近況報告を紹介しました。配布された資料には26名の学友からのメッセージが記載され、多くの学友が留学での学び、経験を活かして様々な分野で活躍されている様子を共有することができました。出席が出来なくとも毎年メッセージを送っていただいている皆さんは、ロータリー学友の一員としてしっかり自覚されていることでもあり、ロータリーを世界に広げる一助になっていると感じます。その後、高橋学友会会長を議長として議事が行われ、三件の議題が恙無く承認されました。

続けて同会場にて懇親会が行われました。出席学友で最年長、1965年度アメリカ派遣の久我寛さん(新潟南RC推薦)の乾杯で始まりました。続いて参加学友のみなさんから順番に壇上にて近況報告をお話いただきました。

今回は総会、懇親会を通してzoom参加者にも楽しんでもらえるよう工夫しました。昨年のzoom参加者はスクリーンには映し出されているものの、会場の映像は向こうに伝わっておらず、参加者との交流もあまり無かったことが反省点でした。PCとカメラを二台ずつ用意し、壇上の様子与会場全体の様子をそれぞれ映し出すようにして、尚且つ1台のPCの前には椅子を置き個別にコミュニケーションが取れるようにしてみました。進行の高橋会長もよくzoom参加者に声を掛けられ、発言の機会を多く作っていただけたので、楽しんでもらえたと思っています。特にグローバル奨学生として現在オーストラリア留学中の田中悠さん(新潟RC推薦)がzoom参加しており、その近況報告は新鮮で学友の皆さんに良い刺激になったと思います。

近況報告の中で複数の方が、最近の学生の内向き志向を危惧されていたのが気になりました。ネットやYouTube等で海外の様子がいつでも手に取るように分かるようになりましたが、それで満足して出ていこうとしないようです。私も短期の留学経験がありますが、現地の空気を吸って肌で感じないとわからないことは多くあると思います。地区では現在グローバル奨学生を募集していますが、応募はあまりありません。お住まいの地域に世界で活躍したいという志の高い若者がおられましたら、ぜひ地区財団委員会に推薦してください。

ロータリー財団学友会、奨学金制度へのご支援とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



国際ロータリー第2560地区 山の会 佐渡島 ドンデン山荘～金北山～白雲台 縦走登山の報告書

2023-24 年度

山の会幹事

鹿嶋 和子 (中条胎内 RC)

2023-2024 年度 国際ロータリー第 2560 地区の「山の会」行事は 4 年ぶりに、ジェットフォイルで佐渡ヶ島に渡り、ドンデン山荘にて「山の会の親睦会」を開催しました。

5 月 24 日（金）に新潟市の佐渡汽船ターミナルにて集合しました。

初夏の佐渡島を楽しみに県内各地のロータリークラブの会員 18 名に参加して頂きました。

24 日の夜はドンデン山荘にて親睦会を開催し、ロータリーの話や山の話で盛り上がりました。

佐渡南ロータリークラブのメンバーより、佐渡の名酒を頂戴し、佐渡の歴史や銘菓、見所などを教えて頂きました。

翌日（25 日）は、ドンデン山荘から縦走路の登山道に入り、天然杉や高山植物を楽しみながら、佐渡島の一番高い縦走路を歩いてきました。左の眼下には、加茂湖や両津湾、右に目を向けると外海府が広がっていました。

足元にはシラネアオイ、イワカガミ、シャクナゲ、レンゲツツジなど、花が絶える事はありませんでした。

新緑に包まれ、時には潮風にあたりながらの縦走登山でした。

初年度から参加しているメンバーは 88 歳（米寿）を迎えました。

4 年ぶりの「山の会」の開催ですから、其々が年齢を重ね、思いのほか足が上がらない等の状況も味わいましたが、無事に縦走登山を完歩して、下山が出来ました。

佐渡島だからこそ体験できた山旅でした。

ご参加いただきましたメンバー、ご家族様、RC 地区事務所のご協力を感謝申し上げ、報告とさせていただきます。





南雲年度 地区研修・協議会での ファシリテーション

2023-24 年度地区研修委員会 副委員長

研修小委員会 委員長

地区研修チーム

関川 博 (三条 RC)

6月1日に開催されました南雲年度地区研修・協議会では、従来の進行形式ではなく各セッションにおいて新たにセッション担当の地区副幹事およびセッションリーダーによるファシリテーション形式が採用され概ね好意的な評価を受けましたので、ここにその概要を報告します。

南雲ガバナーエレクトは、地区方針および地区重点目標を掲げておられますが、その土台には「ロータリーの基本に立ち戻る」という崇高なサブテーマをお持ちです。また刻々と変化する時流や国際ロータリーのあり方にバランスを取りながら批准するという困難な命題に正面から取り組まれておられます。そのお気持ちに接して、私は個人的に何か出来ることはないだろうかと思いを巡らせておりました。

PETS が終了した直後に、「地区研修・協議会の仕立て」を相談され、南雲ガバナーエレクト、阿部地区幹事、野村地区研修・協議会実行委員長そして高橋地区研修委員会 研修チームリーダーと共に南雲ガバナーエレクトの思いを実現するために打合せを重ねました。その結果、大会議では高橋地区ラーニングファシリテーターより「国際ロータリーの現在」というタイトルでご講演いただき、ロータリーを取り巻く環境の変化や、創立当初より変化し続けてきたロータリーの歴史、国際ロータリーの最新の動きについて理解を深める事としました。

また午後の各セッションは地区副幹事の皆様の協力の下、ファシリテーション形式で進めることとしました。従来当地区のセッションは、当該委員会委員長が各セッションリーダーとして進行し、受講者は発言する機会がない講義形式の研修でした。しかし今回は、委員長による説明（講義）を基本としながらも、地区副幹事が進行役として受講者に発言を求める形式に変えました。地区副幹事は地区研修委員会（地区ラーニング委員会）から事前にファシリテーションの手法の学んでいただき、各委員会委員長と意思疎通を図りながら、セッションの骨格をあらかじめ作り上げていく事としました。

その結果、一部では初めての形式に戸惑いが見られたものの、全てのセッションで好意的に受け止められ、大いに意思疎通が図られたと報告を受けました。

第1セッションでは、大宮ロータリー地域協働ネットワークセンター長による活動報告に続き、私が「クラブ会長、幹事の基本」、「クラブ会長の卓話」のテーマで、ファシリテーション形式で進行し座学では体験できない「記憶」に繋げることができたと確信しております。

また国際ロータリーでは5年前より4つの重点項目を数値化するとしておりましたが、いまだに浸透していないために、次年度より「3年目標と計画」と形を改め、数値化した目標をクラブセントラルに入力することを義務付けました。高橋地区ラーニングファシリテーターがその具体的な方法についてレクチャーし、クラブ会長幹事の多くがその場でスマホを使用して入力をしていました。

「50年同じことをしていたなら、それを見直す時期に来ているかもしれません。」アーチック R I 会長の一言が、心に響く地区研修・協議会であり、南雲年度の地区運営方針「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」そのためには「変化」を求められているのだと改めて実感して帰路につきました。



「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

2023-24 年度地区補助金活用プロジェクトの最終報告書が各クラブより提出されました。プロジェクトの企画立案・事前調査・打合せ・申請書提出そして実行、最終報告書の提出と、受益者その他協力団体など、関係者との協力体制なくして実行しえなかった事業が、報告書の中から拝見することができました。ありがとうございました。

次ページより2023-24年度地区補助金事業「成果の確認」受益者からの意見・写真の添付などを紹介いたします。紹介するプロジェクトは次の2クラブです。

- ・新発田城南ロータリークラブ
「新発田城址公園・新発田城大手門内の美化・緑化、
並びに市内独居老人宅へのお花の寄贈プロジェクト」
- ・新津中央ロータリークラブ
「ひとりじゃない！！ 未来へ命をつなぐプロジェクト」

2024-25 年度補助金活用プロジェクトがスタートいたします。
7月27日には財団セミナーが開催されます。十分理解されて、クラブでの今後の活動にぜひお役立ていただければと思います。

地区補助金番号: DG2447744

個別プロジェクト報告書番号: 32

ロータリー財団地区補助金(DG)個別プロジェクト報告書

ロータリークラブ: 新発田城南ロータリークラブ

プロジェクト名: 新発田城址公園・新発田城大手門内の美化・緑化、並びに市内独居老人宅へのお花の寄贈プロジェクト

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

令和 6 年 4 月 16 日独居老人宅への花鉢贈呈引き渡し式(新発田市社会福祉協議会にて)

令和 6 年 4 月 25 日新発田城内へ美化運動とプランター設置作業

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。

独居老人 65 名 + 観光客 5,936 名(4/25~5/16)

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

花鉢贈呈では 65 名の独居老人が花鉢と児童画の励ましで心を癒した。新発田城内プランター設置作業では城内の花による華やかさが観光客の目を楽しませ、観光アピールに一役かった。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 延べ 30 名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも 2 つ挙げてください。

①花鉢贈呈事業→新発田福祉協議会へ独居老人支援につついて調査、要請／保育園 3 箇所へ絵画協力要請／事業執行

②新発田城プランター設置→プランター設置に向けた各担当部署への連絡、業者選定価格交渉／草取りを伴う設置作業

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

自発的協力を新発田市観光ガイドボランティア協会より、設置プランターの水野管理をいただいています。



プロジェクト実施写真集





プロジェクトの成果の確認

※新発田城址公園、新発田城大手門美化、緑化について

令和 6 年 4 月 25 日 会員 12 名と共に新発田城内の美化運動として花苗植え込みプランター40 個を設置、合わせて草取り作業を行い、新発田城を訪れる観光客に楽しんでいただける様に美化運動を行った。

このプランターは 10 月中旬に撤収しますがその間、植え込みの花が色々と観光客を楽しませることでしょう。新発田城表門、入門時の来訪観光客の集計によれば、設置日の 4 月 25 日より 5 月 16 日まで、県内 2121 人、県外よりの観光客は 3815 人 合計 5936 人との数字が出ています。

城内入場者数でこの数字ですから城外を見て帰られる人も多数いると思われ、百名城の知名度による新発田城の観光誘致に果たす役割は多大と思われます。

その為の新発田城整備、美化、緑化運動は現在まだ十分とは言い切れませんが、当クラブの事業がその一端に少しでも貢献できている事は大変有意義であったと思います。

※新発田市内独居老人宅へのお花の寄贈プロジェクト

新発田市社会福祉協議会が新発田市内の加治川・紫雲寺地区とその他地区を対象に、希望する独居老人に対しお弁当を月 4 回配達する事業を昭和 53 年より行い、46 年に亘る長期事業として定着していますが、この弁当の配布に合わせ、当クラブは花の鉢と保育園児の絵画を添えて独居老人に送りその寂しさを紛らわせ、目を楽しませて頂くことを目的として平成 3 年度より同事業を継続して実施しております。

受け皿となり協力をしてもらっている社会福祉協議会のお話によれば、配布先の老人の方々には大変喜ばれているとの報告を受けておりますし、また絵画の制作にあたりましては、3 保育園より無料で園児の協力も継続して得ており、独居老人と園児の心の繋がり効果も醸成しつつあります。

そんな事で本事業の継続効果による園児、並びに老人の心の繋がり、支援する人々の心のブリッジがより地域社会の潤いとして強化、確立していくことを期待するものです。

地区補助金番号: DG2447744

個別プロジェクト報告書番号: 29

ロータリー財団地区補助金(DG)個別プロジェクト報告書

ロータリークラブ: 新津中央ロータリークラブ

プロジェクト名: ひとりじゃない！！ 未来へ命をつなぐプロジェクト

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

2024 年 4 月 26 日 金曜日 新潟市秋葉区の新津第一中学校の 3 年生を対象に命の大切さを知ってもらう自殺防止の為に講演会をワークを行いました。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのくらいですか。 180 名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

受益者は新津第一中学校の 3 年生の生徒たちです。

未来ある子供たちに命の大切さや自分自身を守ることや悩みを聞いてもらえる場所があることを伝えることが出来ました。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 12 名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも 2 つ挙げてください。

ロータリアンはワークや講演会を共に学び見守ったり交流したりしました。先生と協力し話し合いが出来る環境を作りました。

悩みを相談できる相談ダイヤルを記したカードを配りました。

子供たちにアンケートを配り回収しました。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

新潟市薬剤師協会の齋藤大幸さんを講師としてお招きし子供たちに命の大切さを知ってもらう講演会とワークをしていただきました。



プロジェクト実施写真集





命の大切さを考える授業
「ひとりじゃない!!未来へ命をつなぐプロジェクト」が新潟市秋葉区の新津第一中学校で開かれた。新潟市薬剤師会自殺予防対策委員会の齋藤大幸さん(48)が講演し、3年生約200人が身近な人や自分の命を守るための知識を身につけた。国の人口動態統計によると、2022年の本県の自殺者数は414人。人口10万人当たりの自殺死亡率は19・4で、全国(17・4)に比べ高い状況が続いている。こうした現状を受け、齋藤さんは、同時に皆さんの悩みを抱えるところさは何倍にも感じられるとして、生徒たちに「身近な人の命を守るためには悩んでいる人のサインに気づき、寄り添い受け止めて、信頼できる大人につなぐことが大切だ」と強調した。また、自分の命を守るためにには、自分の良いところを見つけて認め、応援することが大事とし、「苦しむ時には一人で抱え込まずに少しでも勇気を出して話せる相手に相談してほしい」と述べた。土屋綾乃さん(15)は「命の大切さや普段悩んでいる友達にどう接したらいいかがよく分かった。自分も人」とではな

新津第一 中で命考える授業
3年生が命の大切さを考えた講演会
＝新潟市秋葉区

ハス、トンボも解説
で佐潟知って
ターをVR再現

デジタル教材「みんなのさかセンター」の画面

市議会が臨時会
21日から3日間
新潟市議会は7日、議会

新潟果樹園
新潟県
ハシクチ
1個 330円(税別326円)
工場直送便0926-117063
新潟市全域無料配達(土・日・祝)
丸屋本店

新潟日報 5月8日掲載

プロジェクトの成果の確認

4月26日金曜日新潟市秋葉区の新津第一中学校の武道館にて中学3年生180名を対象に、一般社団法人新潟市薬剤師会、自殺予防対策委員会の齋藤大幸氏を講師としてお招きして、命の大切さを学ぶ事を目的とした講演会とワークショップを開催致しました。

このプロジェクトの趣旨は、全国でも新潟は自殺率が高く、不登校のお子さんが多いと聞き、次世代を担う子供達に命の大切さを伝えたい、悩んでいる子供たちに、一人じゃなく話を聞いてくれる場所があると言う事も知ってもらいたい想いで企画致しました。

当日は打ち合わせと並び順がちがっていたため多少時間が押してしまいましたが、ロータリアンの臨機応変な対応と協力でスタートすることが出来ました。

最初のグループワークでは4回にわたって、グループごとに話し合いをしてくれて、発表では積極的に手をあげてくれて熱心に参加してくれました。

時間の関係で全ての子供たちの話を聞けなかったのが残念です。

講演会では、齋藤講師の、ご自身の体験をもとした熱量高い A 君のメッセージにみんな真剣に耳を傾けてくれました。身近な人の命を守るためには悩んでいる人のサインに気づき、寄り添い、受け止めて信頼できる大人につながることが大切だと話してくれました。ロータリーで今回作成した命をつなぐダイヤルカードもその一つの手段になればうれしいです。

成果については、子供達からアンケートを回収しております。

アンケートの結果 180名中175名の回答

① グループワークに参加してどう思いましたか？

大変よかった 73名(42%) よかった83名(47%) 普通18名(10%)

よくわからなかった1名(0.5%)

② 講演会を聞いてみてどう思いましたが？

大変よかった91名(52%) よかった67名(38%) 普通14名(8%)

③ 今回の話を聞いてみて悩みがあった時一人じゃなく話を聞いてくれる人や場所がある事がわかりましたか？

はい 173名(99%) いいえ 2名(1%)

アンケートの結果から子供たちの思いがたくさん書いてあり大切にしたいと思いました。

① グループワークに参加してどう思いましたか？

○最初は自分には関係のない話と思ってたけど、まわりの人の命を守ることができるということを学び、相談してくれる子がいたら真剣に聞きたいと思いました。

○改めて班のみんなと話し合っって人の気持ちによりそっていくことの大切さを知ることが出来ました。今回みんなで話し合ったことをこれからの生活でもいかしていきたいです。

○グループで意見を出し合うことで自分では気づけなかったことにも気づけたし、他のグループの意見も参考になってよかったです。

② 講演会を聞いてみてどう感じましたか？心に残ったことがあったら教えてください。

○両価性について、本当に共感できました。

○もし自分が A 君のように悩んでしまったら身近な人が A 君のように悩んでしまったら悩みを打ち明けたりできたらいいなと思いました。相談するための電話やチャットなどもある事がわかったので良かったです。

○私も前にとってもなやんでいた時があったけど、これくらいみんながまんしている。相談したら迷惑になってしまうと色々考えてしまっていたけどそんなことは考えなくていいって思えるようになりました。

③ 今日の話聞いて悩み事があった時、一人じゃなく話を聞いてくれる人や場所がある事がわかりましたか？

○この先、悩みができれば身近な人に相談したいと思いました。

○いつも帰ると親が「学校どうだった？」と話を聞いてくれるし、信頼できる友達、優しい先生がいると言う事を
改めて確認することができました。

○自分に悩み事があっても「ひとりじゃない」「どこかに相談できる場所がある」ということが分かっていたら
少し安心だなと思います。

講演会やグループワークを通じてたくさんの子供たちのところに届いたと思います。

第一中学校の校長先生からもいい講演会だったのでまた開催してほしい。横断幕も体育館に貼っておきたいと要望があり今も体育館に貼っていただいています。また、新潟日報やエフエム新津でも大きく取り上げられたこともあり予想以上の反響がありました。今回のプロジェクトにより、未来へ子供達のいのちをつなぐきっかけになったら嬉しいです。

第 2560 地区 2023-24 年度 5 月末 会員数報告

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2023年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第1分區 (9クラブ)	／	-	378	385	42	7
新発田	3	33.0%	89	88	1	-1
村上	4	20.5%	39	39	9	0
水原	3	23.5%	31	34	2	3
中条	4	96.0%	48	50	3	2
新発田城南	4	23.1%	38	39	5	1
豊栄	3	25.0%	25	24	2	-1
新発田中央	4	6.7%	45	45	5	0
中条胎内	3	48.7%	37	39	9	2
村上岩船	3	28.6%	26	27	6	1
第2分區 (9クラブ)	／	-	436	452	30	17
新潟	4	32.5%	78	83	3	5
新潟東	4	17.5%	61	62	7	1
新潟南	4	36.2%	114	116	8	2
佐渡	2	80.0%	5	5	0	0
新潟西	4	42.6%	40	47	2	7
佐渡南	4	12.8%	36	39	3	3
新潟北	3	36.1%	37	37	1	0
新潟中央	3	38.1%	22	21	0	-1
新潟万代	3	54.8%	43	42	6	0
第3分區 (5クラブ)	／	-	91	95	6	4
新津	3	20.0%	15	15	1	0
村松	4	40.0%	12	15	0	3
白根	5	27.3%	32	32	1	0
新津中央	3	37.0%	26	27	4	1
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分區 (11クラブ)	／	-	364	363	29	-1
三条	3	10.9%	53	55	0	2
燕	3	7.5%	39	40	3	1
加茂	4	10.3%	29	29	4	0
三条南	3	20.0%	42	40	3	-2
分水	5	68.8%	31	32	4	1
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.0%	28	25	3	-3
三条北	4	13.0%	52	54	3	2
巻	4	7.7%	27	26	2	-1
田上あじさい	4	16.7%	6	6	2	0
三条東	4	19.4%	37	36	4	-1

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2023年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第5分區 (7クラブ)	／	-	287	304	30	17
長岡	3	66.7%	46	48	5	2
柏崎	4	2.1%	42	48	0	6
長岡東	4	25.0%	54	60	9	6
柏崎東	3	19.0%	40	42	2	2
栃尾	4	14.3%	21	21	1	0
長岡西	4	18.0%	48	50	3	2
柏崎中央	3	25.7%	36	35	10	-1
第6分區 (6クラブ)	／	-	125	121	8	-4
十日町	3	30.0%	31	30	3	-1
小千谷	3	14.3%	31	28	2	-3
雪国魚沼	5	14.8%	26	27	3	1
十日町北	3	0.0%	15	14	0	-1
津南	3	28.6%	14	14	0	0
越後魚沼	3	12.5%	8	8	0	0
第7分區 (7クラブ)	／	-	309	311	20	2
高田	4	32.9%	68	70	4	2
直江津	3	34.7%	72	75	6	3
新井妙高	3	11.8%	32	34	1	2
糸魚川	4	95.1%	43	43	3	0
高田東	3	58.8%	36	34	2	-2
糸魚川中央	4	53.8%	25	26	0	1
越後春日山	3	82.8%	33	29	4	-4

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,990 人
5月末会員数	2,031 人
女性会員数	165 人
純増減会員数	41 人
My Rotaryアカウント登録率	29.7 %

地区主要行事予定

2024年6月21日現在

年 月 日			行 事	会 場
2024年 (R6) 南雲年度	7月	母子の健康月間		
		1	(月) 第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京プリンスホテル
		6	(土) 危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
		7	(日) 全国青少年交換委員長会議	AP八重洲
		13	(土) 室賀年度第1回ガバナー補佐会議・研修会	割烹 月映
		17	(水) 公式訪問 ②新潟南RC	新潟グランドホテル
		18	(木) 公式訪問 ②佐渡RC・佐渡南RC	未定
		19～20	(金～土) インターアクト年次大会 (ホストクラブ：新発田中央RC)	月岡温泉 ホテルひさご荘
		20	(土) クラブ活性化セミナー (会員増強セミナー)	ホテルオークラ新潟
		22～23	(月～火) 短期交換学生研修旅行	佐渡
		24	(水) 公式訪問 ①中条RC・中条胎内RC	中条グランドホテル
		27	(土) 第1回ロータリー財団セミナー	ANAクラウンプラザホテル新潟
		27	(土) 新井妙高RAC創立50周年記念式典	デュオ・セレソン
		29	(月) 公式訪問 ②新潟万代RC	新潟グランドホテル
		30	(火) 公式訪問 ②新潟東RC・新潟北RC・新潟中央RC	ANAクラウンプラザホテル
	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間		
		3	(土) ロータリー財団地区資金監査	地区事務所
		4	(日) 第7回ローターアクト合同会議	AP日本橋+ZOOM
		6	(火) 公式訪問 ②新潟RC	ホテルイタリア軒
		7	(水) 大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
		20	(火) 公式訪問 ⑦直江津RC・越後春日山RC	ホテルセンチュリーイカヤ
		22	(木) 公式訪問 ①新発田城南RC	割烹 はまや
		23	(金) 公式訪問 ⑦高田RC・高田東RC・新井妙高RC	デュオ・セレソン
		24	(土) 長期受入学生オリエンテーション	長岡市内
		25	(日) 米山カウンセラーセミナー	未定
		25	(日) 米山奨学生研修会	未定
		25～26	(日～月) 米山記念奨学生親睦交流会	未定
		27	(火) 公式訪問 ③村松RC・阿賀野川ラインRC	デュオ・セレソン
		29	(木) 公式訪問 ③新潟西RC	ホテル日航新潟

【新入会員】 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
糸魚川	鍋島 誠	2024.04.11	日本生命相互会社 糸魚川営業部	営業部長	生命保険
糸魚川	渡辺 澄男	2024.05.01	株式会社オートサービスカミヤ	代表取締役	電力供給
新潟	濱口 和也	2024.05.07	農林中央金庫富山支店	新潟県担当部長	農林水産金融
新潟	千葉 辰也	2024.05.07	損害保険ジャパン(株)	新潟支店長	損害保険
長岡東	藤井 洋	2024.05.08	東京海上日動火災保険(株)新潟支店 長岡支社	支社長	損害保険
新潟東	安藤 昂紘	2024.05.17	(株)安藤プロパン	常務取締役	石油製品販売
新潟北	近藤 繁	2024.05.20	(株) B works	代表取締役	空調工事
長岡東	中島 隆長	2024.05.22	住友生命保険(相)長岡支社	支社長	生命保険
巻	鷲尾 誉	2024.06.01	(株)産業運輸	専務取締役	運送業
長岡東	藤尾 克久	2024.06.05	あいおいニッセイ同和損害保険(株)長岡支社	支社長	損害保険
越後魚沼	星野 建樹	2024.07.01	(株)ニットク	取締役	卸売小売業

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。 (敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
村上岩船	山田 淳一	2024/5/21	株式会社 協和管工	代表取締役社長	衛生工事	



「新年度の始めに」



第2地域 ロータリーコーディネーター 野口 英一（甲府 RC）

新年度が始まりました。

すでにご存じのことかと思いますが、国際ロータリー ステファニー A.アーチック会長のイニシアチブをおさらいします。大きく分類すると、以下の資料のようになると思います。

特にクラブの現状や今後に不安をお持ちのクラブ役員の皆様は、「3-Year Rolling Targets (Goals)」を是非やってみてください。現年度役員だけではなく次年度、できれば次々年度の方々とも相談することで大いなる効果を生むはずです。新たな活動のきっかけになると思います。将来に不安のない順調なクラブの皆様もやってみてください。もっと良いクラブになるかもしれません。詳しくは、日本人用ポータルサイト[[Rotary Zone 1a, 2, 3 PortalSite \(japanrotary.club\)](https://japanrotary.club)]をご覧ください。とても便利です。（右記の QR コードを読み込むと見ることができます。）



さて、次号 8 月のコーディネーターニュースから 1 年間、小職が取りまとめ役をいたします。これまで通り基本 3 ページ建て、各地域から 3 人の地域リーダーに執筆していただきますが、新たに EMGA (恒久基金大口寄付アドバイザー)、EPNC (ポリオ根絶コーディネーター)、APC (アクションプランチャンピオン…行動計画推進者)、カルガリー国際大会推進チームの皆様にも執筆していただくことにいたします。今まで以上に皆様のお役に立てる情報を掲載していく所存です。どうぞご期待ください。地区のホームページやガバナー月信、クラブ会報への掲載をお願いいたします。

RI 会長イニシアチブ

- 最優先課題は、
「会員増強を図る行動計画の推進」
◆ 3-year Rolling Targets (Goals)
- ロータリーのマジック
…クラブでの体験を魅力的なものにする
◆ ロータリーの行動計画
…ロータリーの強さを維持するため
- 積極的な平和を通じて
分断された世界を癒す
◆ 4つのテスト…peace pole project
- 継続性
◆ 前任者や後任者と協力すること
◆ クラブが取り組んできたことや
クラブに根付いてきたことに目を向けること



公共イメージ＝ロータリーブランディング



第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 小林 聡一郎（甲府北 RC）

今から 90 年前、昭和9(1934)年 8 月、高野山金剛峯寺で開催された地区協議会では、あらかじめ6クラブにプレゼンテーションが与えられ、その対処法を発表し合いました。神戸クラブには、「ロータリークラブを社会一般に正しく認識せしむる方法について」というもので、神戸クラブから次のような提案がありました。

「ロータリーの綱領、沿革、組織、活動などに関する資料文献を公開して社会の批判にさらし、一つには自らの戒めとし、併せて社会一般の誤解をただすことが一石二鳥の方法ではないか。そのため資料文献を諸大学などに提供し、その研究結果を発表せられるように尽力し、学生からロータリーに対する考察を懸賞論文として募集することが早道ではないか」というものでした。これは後にシカゴ本部にも報告され、本部の評価は高く、シカゴクラブ創立 30 周年に際し、シカゴ大学社会科学調査委員会に資料一切を渡して研究してもらい、「ROTARY?」という本に纏められたことは周知のとおりです。

昭和 16 年からの戦争に向かう世情で、社会に正しくロータリーを認識してもらう方法として、社会の評価にすっかり下駄を預け、批判は批判として受け止め、まずは自分たちが世間からどう見られているのか、ダメなところがあったら言ってもらって直していこう、そんなニュアンスが感じ取れます。

90 年前のアイデアに感心ばかりもしていただけませんので、ROTARY 歯車マークを見ただけで「世界を変える行動人」を人々が想起してくれるには、どうしたらよいのか考えなければなりません。公共イメージ＝ロータリーマークを見ただけで、世界でよいことをしているロータリーを好意的にイメージしていただくことができるか、どうか。

2024 年の今。ロータリーのビジョン声明、戦略的優先事項、さらには中核的価値観、そしてそこに DEI というロータリー環境の中で、→クラブが地域社会のニーズに応じた活動をし、→ロータリー会員一人一人の質を高め、→クラブのモチベーションを高めて、→正しく広報し、→地域の方々に存在を好意的に認識してもらい、→ブランド力を高め→公共イメージを向上させ、→会員増強に結びつけながら次の奉仕活動を行っていく…そんな好循環の円運動ができれば、あえてクラブ活性などと言わなくても、元気なクラブになっていくように思いますし、まさに公共イメージ向上の取組は戦略計画の一環になります。→の部分に「外部の眼」を意識できるかどうかがかぎのように思います。



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 成田 秀治（五所川原イブニング RC）

2023-24 年度が終わりました。私自身も ARRFC としての一年目が終わり二年目の年がスタートしました。第1地域ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)飯村慎一様の下、与えられた任務を果たしていく所存でございます。

2024年3月9日(土)に私が担当する3地区(第2500地区、第2510地区、第2830地区)の地区ロータリー財団委員長会議を札幌で開催致しました。内容は、ロータリー財団の目標及び地域コーディネーターの目標の確認。そして、今年度と次年度の各地区におけるグローバル補助金と地区補助金の活用及び次年度の地区目標等について意見交換致しました。また、同様に2024年4月27日(土)山形県酒田市において ARRFC 新保清久様が担当する3地区(第2540地区、第2560地区、第2800地区)においても今後の活動方針について意見交換致しました。実に有意義な時間を過ごさせていただきました。地区ロータリー財団委員長におかれましては、地区ロータリー財団セミナー等に役立てて頂ければと思います。2024年6月12日(水)には、ARRFC 中川高志様が担当する4地区(第2550地区、第2570地区、第2770地区、第2840地区)においても地区ロータリー財団委員長会議を開催予定です。

第1地域全体の地区ロータリー財団委員長会議(14地区)を2024年6月15日(土)札幌において2024-25年度のロータリー財団目標・計画、各地区目標そして、世界ポリオデー(10月24日)について意見交換会を開催致します。今後の地区活動に役立てて頂ければと思います。

ポリオ根絶について少しお話をしたいと思います。

国際ロータリーは、世界からポリオを無くそうと国際ロータリー創立80周年記念事業として、1985年に「ポリオプラス計画」を発表されました。3年間の準備期間を経て1988年に本格的に活動を開始しました。ロータリーが活動を始めたころ世界で125カ国、年間35万人の発症を見ていました。現在は99.9%制圧しています。その間、インドでのポリオ根絶は多くの専門家から無理だろうと思われていましたが、2011年1月13日、3歳の少女のポリオ発症を最後に3年間ポリオフリーとしてWHO(世界保健機関)が2014年3月にインドでのポリオ根絶宣言をしました。また、2020年8月には、ナイジェリアのポリオ根絶により、アフリカ大陸からポリオ根絶宣言されました。これにより野生型ポリオウイルス常在国は、パキスタンとアフガニスタンの2カ国になりました。2024年6月4日現在、パキスタンで4症例、アフガニスタンで4症例です。ポリオ根絶が目前となったとは言え、ここで手を抜く訳には行きません。ポリオについて認識を正しく持ち、ポリオ根絶のPRや募金活動について理解しなければなりません。世界ポリオデーのイベントが国内外に向けて最大のPRの場だと思います。各地区におかれましては、世界ポリオデーの活動を宜しくお願い致します。



1. 理事会開催 —24 学年度から 61 人増の 950人採用—

6月3日、第42回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事26人、監事2人が出席しました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、危機管理規程、海外学友会推薦奨学金の海外学友会に対する業務委託に関する規程、2025 学年度奨学生採用数、募集要項、2024 年度



事業計画案、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2025

学年度の奨学生採用数は、前年度から 61 人増加の 950 人(枠)とすることなどが決定しました。

2. 第 2 回 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催

6月6日、2024-25 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第2回セミナーを都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、井原實常務理事の講話から始まり、学務・学友関連について事務局から説明。事例発表として、第2750 地区の粕谷啓之委員長から世話クラブの選定についてご紹介いただいた後、滝澤功治副理事長から米山奨学事業の危機管理についてご説明いただきました。

午後の部では、第5代よねやま親善大使の陳瑤さんチンヨウ（2012-14／四日市東RC）が、「米山奨学事業がもたらす三観変化」というタイトルで、大使活動と自らの経験についてスピーチしました。また、事例発表として、第2550 地区の田島良久委員長から、同地区の寄付増進の取り

組みについてご紹介いただきました。その後、4 グループに分かれて「寄付増進」、「奨学生選考と世話クラブ選定」、「奨学生・学友との交流行事の工夫」、「学友・学友会」などをテーマにディスカッションが行われ、各グループからの報告と質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評で締めくくられました。



3. 寄付金速報 今年度の寄付実績は 6 月 28 日(金)まで

前年同期比

+ 1.64%

普 - 0.16% 特 + 2.45%

5 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.64% 増（普通寄付金:0.16%減、特別寄付金:2.45%増）、約 2,140 万円の増加となりました。ロータリー会員の

皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。

今年は年度末が土日のため、今年度のご寄付は **6 月 28 日(金)** までに着金するよう、余裕をもってご送金をお願いいたします。今年度も残るところあと 2 週間余りとなりましたが、引き続き米山記念奨学事業へご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

4. 海外米山学友会が能登半島地震へ寄付

能登半島地震発生から国内外で米山学友たちの支援が続いている中、今回は2つの海外米山学友会が寄付を行いました。

黄建榮さん(1998-2000/室蘭東RC)が会長を務めるマレーシア米山学友会は、マレーシア在住の日本人と協力し、3月9日にオンラインチャリティーイベントを開催しました。「日本とマレーシアを結ぶ」をコンセプトに、マレーシア料理の料理教室や、日本人音楽家によるコンサートなどを配信。その収益として集まった212,178円を、被災した子どもたちを支援して

いる認定NPO法人カタリバへ寄付しました。

ダシルワ プブドゥさん(2007-09/室蘭北RC)が会長を務めるスリランカ米山学友会は、3月9日に福島県、3月30日に新潟県でスリランカカレーの販売を行いました。新潟県では第2560地区米山学友会も協力し、イベントを開催。この2回の活動での売上と、スリランカ米山学友会からの寄付を合わせた101,148円を、当会へ送金いただきました。お預かりした寄付金は、当会から第2610地区の義援金窓口へ送金する予定です。

5. 「立派な大人になった」学友と再会したカウンセラー

今から約4年前の2018年、熊谷籠原RCの並木信二会員は、第2570地区のオリエンテーションでトルコ出身のイバムスタファ ヒルミさん(2018-20)と出会いました。初対面の印象は、「真面目で礼儀正しい好青年」だったそうです。奨学生時代のイバさんとの一番の思い出は、共に参加した秩父音頭祭り。イバさんは先頭で提灯を持ち、2年連続で先導役を務めたそうです。その他、江戸川花火大会や北陸への親睦旅行など、多くのクラブ行事にも一緒に参加しました。

イバさんが奨学期間を終了し帰国する際、コロナ禍の影響で満足に送別会もできず、心残りだったのですが、誕生日や新年の度に連絡し、やり取りを欠かしませんでした。そして今回、4年ぶりに来日する旨の連絡を受けました。残念ながらクラブ例会の日とは重ならなかったため、並木会員は急遽参加者を募り、5月22日、集まった5人と共に来日したイバさんと再会。実は、今回イバさんが来日した大きな目的は、母国で弁護士資格を取得した報告をするためでした。



イバさん(中央右)と再会した並木会員(左)とクラブ会員

並木会員は4年ぶりの再会と嬉しい報告に、「会いに来てくれて本当に嬉しいですし、立派な大人になったな、と感じました。いつの日か東京で弁護士事務所を構え、トルコと日本で仕事をしたい、と話していて、まさに米山事業が目指す両国の懸け橋となってほしいと思いました」と、喜びを語りました。

同クラブでは奨学生と関係を構築するための取り組みとして、会員が奨学生の母国のことを勉強して理解するように心掛けているそうで、カウンセラーを務めることは「自分自身も成長できる素晴らしいこと」と、話してくださいました。

ベトナム南米山学友会 第1期総会開催のご案内

◇2024年7月28日(日) 13:00~15:00 (ベトナム時間)

申込・詳細はQRコードから

15:00~17:00 (日本時間)

◇会場: NHÀ HÀNG CƠM NIÊU THIÊN LÝ (ホーチミン市内)

◇オンライン参加も可 ※※ 申し込み期限: 7月15日(月) まで ※※

